



『見知らぬ人』 概説書

この犯人は、見抜けない。



MWA 賞最優秀長編賞受賞

エリー・グリフィス

見知らぬ人

創元推理文庫

書誌情報

『見知らぬ人』 エリー・グリフィス

上條ひろみ訳

MWA 賞最優秀長編賞受賞
創元推理文庫 定価 1,210 円 510 ページ

丸森ひなのさん

紀伊國屋書店 新宿本店

“どうせ年末にミステリアンセンクを見ても買わないで済むから、今、買っておきましょう？”なーんてお決まりのオススメですが、このおもしろさなら！！

本郷綾子さん

丸善丸広百貨店 東松山店

ず人の心か。犯人当てる醍醐味を得られるだろう。

真相にたどり着いた瞬間、思わず息を呑んだ。作中作と現実が交差し、

禍々しく読者を魅了する。恐ろしいのは事件か、それとも事件を起こ

真相にたどり着いた瞬間、思わず息を呑んだ。作中作と現実が交差し、

禍々しく読者を魅了する。恐ろしいのは事件か、それとも事件を起こ

真相にたどり着いた瞬間、思わず息を呑んだ。作中作と現実が交差し、

禍々しく読者を魅了する。恐ろしいのは事件か、それとも事件を起こ

真相にたどり着いた瞬間、思わず息を呑んだ。作中作と現実が交差し、

禍々しく読者を魅了する。恐ろしいのは事件か、それとも事件を起こ

絶賛の声続々！

本を受するベテラン作家が贈る、MWA 賞最優秀長編賞受賞作！

らた”と書かれた謎のメモが、それはホルンの短編に登場する文章で……

る日ケレの親友である同僚が殺害されてしまう。遺体のそばには“地獄はか

の邸宅だった。ケレは同僚の教師をしながらホルンを研究しているが、あ

——タルガース校の旧館は、かつてヴィクトリア朝時代の伝説的作家ホルン

これは怪奇短編小説の見立て殺人なのか？

内容紹介

イラストレーター・松島由林先生による登場人物紹介

